

風倒害を受けにくい森づくり

背景

2000年以降、北海道に上陸する台風が増加傾向にあり、収穫期を迎えたカラマツ・トドマツ人工林の風倒害増加が懸念されている。

成果



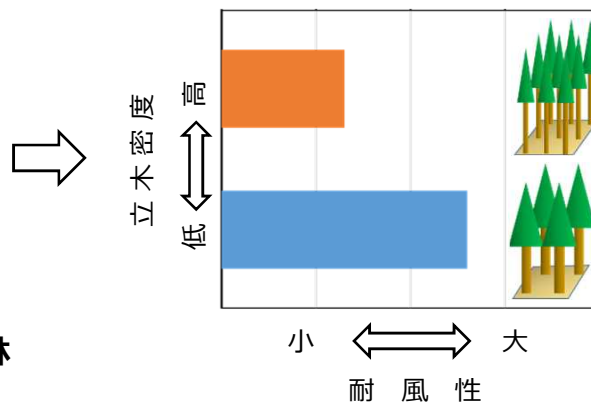
風倒被害を受けたカラマツ人工林

1 どんな森林が風倒害を受けにくい？



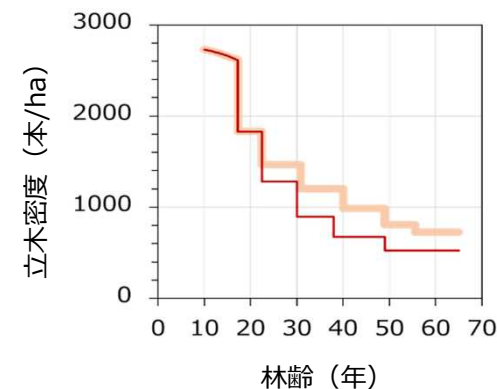
引き倒し試験

樹高・幹直径等から人工林の耐風性を評価



立木密度が低いと幹が太く風に強い

2 風倒害に配慮した林業



普及パンフレット

間伐方法を改善し風倒害に強い森をつくる

期待される効果

道内における木材生産量、植栽面積の8割を占めるカラマツ・トドマツの風倒害低減が可能。

共同研究機関：林産試験場

協力機関：北海道水産林務部 森林整備課・森林計画課・道有林課・森林活用課、池田町、十勝総合振興局 森林室普及課・森林整備課